

ファイバオプティクスディテクタ

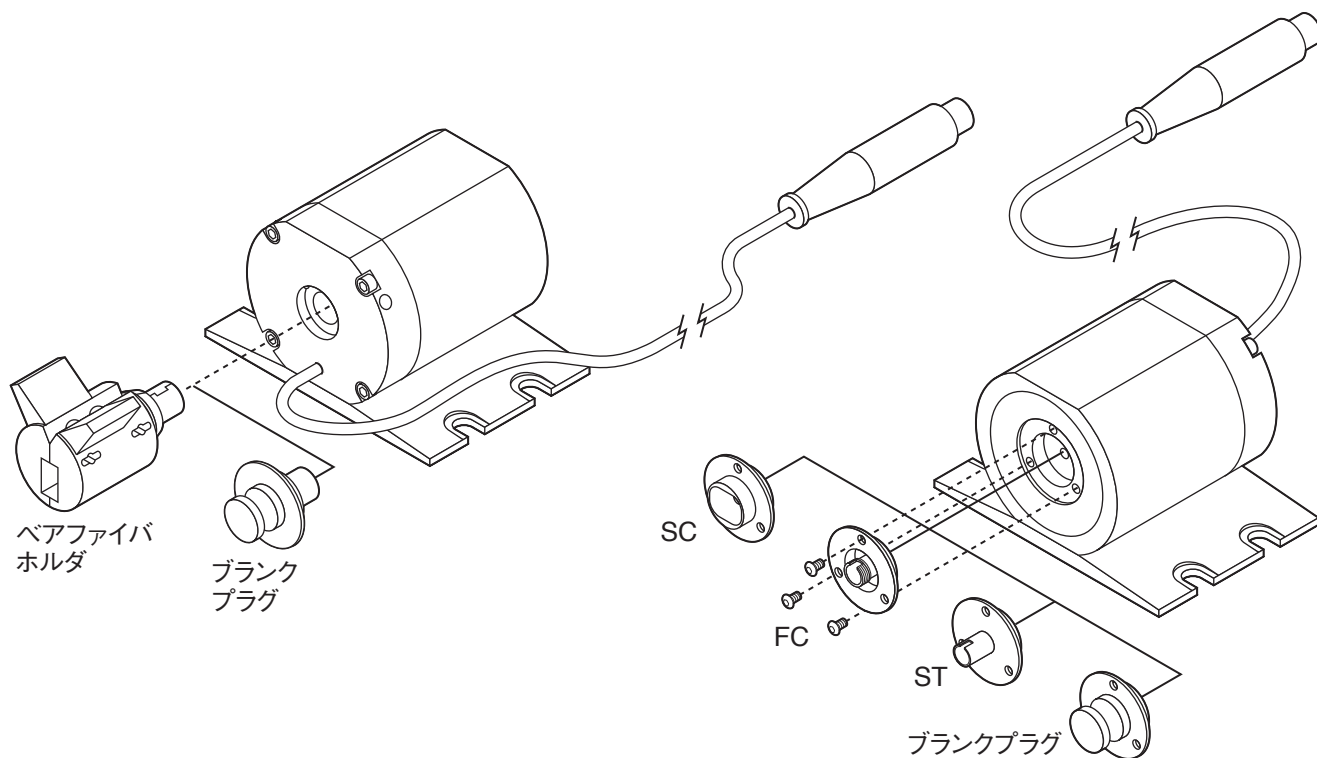
Fiber Optic Detectors



- 積分球を用いた設計により、あらゆるファイバ光源からの光を偏光の影響を受けずに正確に測定
- 400～1650 nmにおよぶ波長領域を連続的に測定
- 最高200 mWまでの光パワー入力
- ベアファイバをはじめ、各種端面処理 (FC、ST、LC、SC) ファイバ入力に対応

モデル818-IS-1、918D-IS-1ユニバーサル・ファイバオプティクスディテクタは、対称型積分球タイプの設計を採用しているため、測定するファイバタイプに関係なく高精度の較正が行えます。積分球はデュアルディテクタ方式を用いて設計されており、従来のディテクタと比較して温度感度を格段に向上させた特別な光学系を備えています。この2種類のディテクタは、400～1650 nmの波長範囲においてNISTに準拠して較正されています。918D-IS-1GはInGaASディテクタを備えており、800～1650 nmの波長範囲で、918D-IS-SLはシリコンディテクタを備えており、400～1100 nmの波長範囲で較正されています。コード化された較正データはコネクタ組込み式の較正モジュールに書き込まれます。818-IS-1の較正モジュールは、Newportの旧型パワーメータへ接続可能で、918D-ISシリーズはD-Sub15ピンコネクタにより、Newportの新型パワーメータに接続可能です。

デュアルポート設計により限界まで使いやすさを追求しました。コネクタ付ファイバに接続可能な各種アダプタが用意されており、アダプタを利用してディテクタの前面ポートへ接続します。背面ポートは直角、斜めに切断されたベアファイバからの光測定に用いる事ができ、NewportのFP3-FH1ベアファイバホルダを使用します。各ディテクタにはアダプタキットとキャリーケースが付属しております。

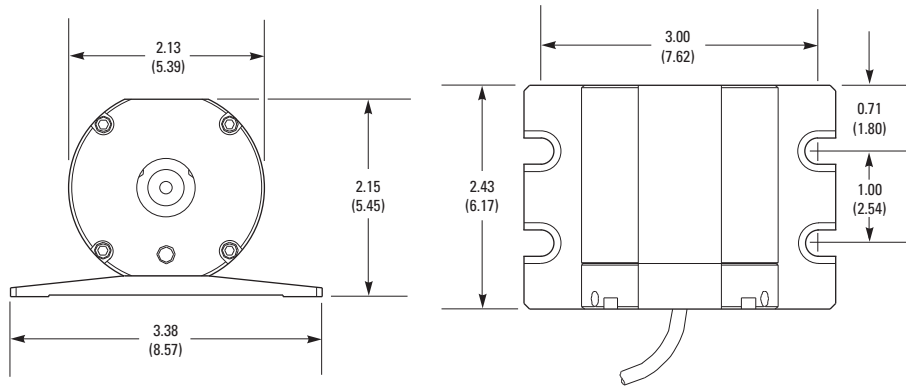


図は、818-IS-1です。918D-ISシリーズはD-Sub15ピンコネクタに接続可能です

818-IS & 918 D-IS仕様

モデル	818-IS-1	918D-IS-1	918D-IS-SL	918D-IS-IG
波長範囲 (nm)	400 to 1650		400 to 1100	800 to 1650
飽和パワー (mW)	>200			
飽和エネルギー (μJ) (10-15 ns pulse)	>1			
最大パルスエネルギー (μJ)	100			
キャリブレーション誤差 ⁽¹⁾	5% @ 410-640 nm, 3% @ 641-1650 nm	2.5% @ 400 - 1650 nm	2.5% @ 400-1100 nm	2.5% @ 800-1650 nm
立ち上がり時間 (μs)	2			
NEP @ 5 Hzおよび1 A/W (pW/√Hz)	3			
材質	インジウムガリウムヒ素/シリコン		シリコン	インジウムガリウムヒ素

寸法



818-IS および918-D-ISディテクタ発注のご案内

モデル	内容	Price
818-IS-1	818-IS-1ユニバーサルファイバオプティクスディテクタ 400-1650nm, 8-pin DIN Cal Module	¥398,000
918D-IS-1	918D-IS-1 ユニバーサルファイバオプティクスディテクタ 400-1650nm, DB15	¥371,000
918D-IS-IG	918D ユニバーサルファイバオプティクスディテクタ800-1650nm, DB15	¥278,000
918D-IS-SL	918D-IS-SL ユニバーサルファイバオプティクスディテクタ 400-1100nm, DB15	¥265,000
22493-01	コネクタアダプタ ST, 818-IS and 918D-IS	¥12,000
22494-01S	コネクタアダプタ FC, 818-IS and 918D-IS	¥12,000
22497-01	ブランクプラグ818-IS and 918D-IS	¥4,500
31850-01S	コネクタアダプタ LC, 818-IS and 918D-IS	¥12,000
31856-01	コネクタアダプタ SC, 818-IS and 918D-IS	¥12,000
FP3-FH1	フォトダイオードディテクタ用ベアファイバホルダ	¥36,600
841-DIN	8 pin DIN - DB15変換アダプタ (818-xx/CMディテクタ用)	¥20,600



ベアファイバホルダと各種の光ファイバコネクタに対応できるアダプタが付属しています (LCアダプタは写真に含まれていません)。